



# 身延清稜小だより

身延町立身延清稜小学校 TEL.0556-42-2520  
令和4年1月18日 校長 佐野三代司  
学校教育目標「進んで学び やさしい心もち  
心身ともにたくましい児童の育成」

## 新年を迎えました

本年もどうぞよろしくお願いたします



寒さ厳しい毎日ですが、年が明け、2022年、令和4年の幕開けです。昨年中、保護者の

皆様・地域の皆様には、本校の教育活動推進へのご支援ご協力をたくさんいただきました。日頃から子どもたちを毎日元気に学校へと送り出していただいていることをはじめ、皆様のご支援をいただいたおかげで学校運営ができました。心より感謝申し上げます。

新しい年を迎えました。変化の激しいこの時代を生き抜く子ども達に、確かな力をつけていかなければならない学校の責任は、たいへん大きいものがあります。職員一丸となって充実した教育活動をめざし取り組んで参ります。子どもたちにとりましても、保護者・地域の皆様にとりましても、良い年となりますようお祈り申し上げます。本年も身延清稜小学校を、どうぞよろしくお願いたします。

コロナウイルス感染症は新たなオミクロン株の出現により、年明けから再び緊張感



3学期始業式を、新たな気持ちで行いました。

が増してきています。2学期はやや感染の状況が改善し、学校も平穏な毎日を過ごせていたわけですが、今後がたいへん心配されます。長い期間にわたっての感染対策となっていますが、できることをしっかり行いながら、子どもたちの健康を守っていきたいと思います。

さて、冬休み中、お正月の子ども達の様子はいかがでしたでしょうか。幸い、大きな事件・事故等の報告をいただいております。始業式の11日には子どもたちの元気な顔が見られたことを、何よりうれしく思っています。

登校班で歩いてくる子どもたちや、スクールバスから降りてくる子どもたちは、明るく「おはようございます」とあいさつに返ってきていました。今年も、あいさつがよくできる本校の子どもたちを育てていきたいと、思いを新たにしているところです。

11日の始業式には、全児童出席の中、体育館に集合し、落ち着いた雰囲気の中、学期始めの式を行いました。私からは、

「福笑い」を通して、笑顔で過ごすことが大切だと、自分を笑顔にするために一生懸命に頑張ること、誰かを笑顔にするためにはやさしい思いやりが大切であることについて話しました。

子どもたちは、教室で3学期の目標を、「かけざん九九をマスターしたいです。」「なわとびをがんばりたいです。」「毎日元気に学校へ来て、友だちと仲良く遊びたい



です。」等々、がんばりたいことを発表していました。

3学期は、授業日数としては、51日（6年生は49日）と短いですが、学年のまとめをしっかり行い、進級・進学への意欲を高める学期にしたいものです。

## 冬のスポーツ スキーにチャレンジ！

1月13日（木）に、4・5・6年生がスキー教室に出かけました。冬のスポーツの代表であるスキーを体験する良い機会です。場所は、毎年利用している富士見高原スキー場です。天候に恵まれ、途中少し雪が舞うこともありましたが、1日安定した天候の中でスキーを経験できました。昨年はやむを得ず中止としたスキー教室ですが、今年は感染対策を十分に取ながら実施することとしました。4・5年生の中には、初めてのスキー体験となった子どもたちもいましたが、何回かりフトに乗ることができ、滑って降りてくることができました。午後にはターンもできるようになり、充実した1日を過ごしました。大きなけがをすする子もなく、スキーの楽しさをたっぷり味わうことができたスキー教室でした。



## 心をこめて真剣に 書きぞめをしました

新年を迎えると、新たな気持ちを表す意味で、書きぞめが古くから行われていますが、国語（書写）の学習の機会として学校でも校内書きぞめ会を行いました。1・2年生は硬筆、3年生以上は毛筆に、年末から授業でも練習し、冬休みの宿題としても取り組んできた成果を発揮する機会です。墨の香りのする静かな教室で、真剣に取り組む子どもたちの様子が印象的でした。



6年生は小学校最後の書きぞめです。



オミクロン株の蔓延により、新型コロナウイルス感染症への懸念が再び高まっています。学校行事につきましても今後変更の可能性があります。御承知おきいただくとともに、ご協力をお願い致します。

